

2022年度 第1回 常務理事会・理事会合同会議

2022年4月8日(金)13:00～15:00 帝国ホテル「孔雀の間(東)」

昨年度同様、Web会議システムを併用し、55名の役員会員に出席いただきました。

2022年度活動計画を中心に活発な議論が行われ、すべての議題について承認決議されました。



決議事項

- 議題1 会長代行の選任について
- 議題2 2021年度活動報告について
- 議題3 2022年度活動計画について
- 議題4 事務局人員の増強について
- 議題5 会員の異動について
- 議題6 定例会議等の開催日程について

【2022年度活動計画 要旨】

有事における国民的危機への対応

- (1) 生団連の独自性のある司令塔機能構想を作り上げ、提言
- (2) 参院選前に公開質問を行い、国民に投票の指針を示すと同時に、生団連と近い考えを持つ団体へのアプローチも検討

「国家財政の見える化」の実現に向けて

- (1) 国家の持続的な成長を実現するための予算制度改革「3か年の複数年度予算」
- (2) 「国家の財務書類」の法定化と国民目線での「見える化」に資する新たな論点整理
- (3) 国民が納税者として主体的に国家財政について議論するための意識喚起

「生活者としての外国人」の受入れ体制の構築

- (1) 外国ルーツを持つ子ども・青少年等の教育について議論及び提言
- (2) 外国人労働者の就労・生活環境について集約・整理
- (3) 「外国人の受入れに関する基本指針」の採択拡大

「エネルギー・原発問題」の国民的議論に向けて

- (1) 国民へ向けた情報発信と直接交流の場の創設
- (2) 企業・住民・自治体へ向けた再エネ導入好事例の情報共有
- (3) 現地現物調査・ファクト集の更新

災害支援スキームの構築

- (1) 平時からの備え
- (2) 防災備蓄品の活用
- (3) 会員内連携、地域生団連での支援構築
- (4) 困窮者支援
- (5) 生団連災害支援基金(仮)の設立

ジェンダー主流化委員会について

開かれた議論によってジェンダー平等の実現に向けた課題の認知・共有を進めていくべく、重点課題として位置づけ、活動を進めていく

- (1) 企業におけるジェンダー平等の推進
- (2) ジェンダー平等を阻む社会的論点の整理

有志によるウクライナ支援

ロシアのウクライナ侵攻により民間の避難民が急増する中で、会員の有志による支援を行っていく。具体的内容については迅速に事務局内で検討する。